

Interview



西谷小学校6年生
 田井 佑弥 くん

人を思いやる言葉を大切に

僕は児童会長として「みんなが傷つく言葉は言わないこと」と「自ら進んで挨拶すること」を心がけて実践しています。人権擁護委員の皆さんから頂いた人権の花を“コロナ差別がなくなってほしい”という願いを込めて、みんなで大切に育てていきたいです。



育てよう思いやりの心 西谷小学校で人権の花贈呈

10月23日、西谷小学校で人との関わり合いの中で協力し、支え合う気持ちを育ててもらおうと、市人権擁護委員から児童の皆さんに人権の花が手渡されました。わけ和家校長は「みんなの心が育っていることを感じる、心が温まる集会でした。次にバトンタッチできるように、しっかり花を育てていきましょう」と締めくくりました。



Interview



拝志小学校2年生
 大塚 果音 さん

おばあちゃん、また来てね

生活研究協議会の皆さんが来てくれて、美味しい料理ができて嬉しかったです。今日作ったおにまんじゅうは甘くてもちもち。“おはなしウーフ”で読んでもらった絵本に登場したおやつです。今日来てくれた皆さんと一緒に今度は焼き芋がしたいです。



食の大切さを学ぼう 拝志小学校でお芋パーティー

11月6日、拝志小学校1、2年児童と市生活研究協議会の皆さんが、さつま芋を使った調理や会食を通して交流しました。10月に芋掘りをしたときの「さつま芋のつるは戦時中に食べたんだよ」というお話から用意された“さつま芋のつるの佃煮”は児童に大人気。6年生の平和学習の授業にも使われました。



より高く、より速く、より遠くへ 愛媛県小学校陸上運動記録会で 子どもたちが健闘

11月9日、ニンジニアスタジアム（松山市）で第33回愛媛県小学校陸上運動記録会が開催され、市内各小学校から選ばれた34人が記録に挑みました。自己ベストを記録した子もいれば、思うような結果が出なかった子も。練習が制限されたなかでも、健闘が光りました。

トンボやバッタを見つけたよ！ とことこクラブで自然と触れ合う

11月11日、森の交流センター（田窪）で小さな子どものおさんぽ会「とことこクラブ」が開催され、子どもたちがトンボやバッタを見つけて、自然と触れ合いました。

講師を務めた安田昂平さん（愛媛大学農学部）が、「トンボのアキアカネとナツアカネは、胸の模様で見分けたりします」と解説すると、参加した大人からも驚きの声が上がっていました。



秋晴れの下で商店街に賑わい 笑顔のしずく写真展 in 横河原商店街

11月8日、横河原商店街で笑顔のしずく写真展が行われました。商店街全体を広く使用し、多くの出店があり、家族連れなどで賑わいました。主催のおかだ写真館岡田真之介さんは「イベントの中止が相次ぐ中、地元商店街で初めて開催できたことに感謝。写真を通して多くの方に笑顔と幸せを届けながら横河原商店街の活性化にもつなげられれば嬉しいです」と話してくれました。



大きく育ったかな？ さつま芋収穫で異学年交流

10月28日、上林小学校全校児童が、体育館裏で栽培したさつま芋を収穫しました。当日は準備や運営を環境委員会の皆さんが行い、上級生と下級生がペアになって収穫の喜びを味わいました。収穫後は児童が考えたイベント「S-1グランプリ（収穫したさつま芋で3kgを量る）」を楽しみました。



▲重さを比べる子どもたち

Interview



上林小学校6年生
倉橋賢丞さん
けんしやう

さつま芋で深まる上林の絆

さつま芋掘り大会（S-1グランプリ）のリーダーをしました。去年よりは採れなかったけれど、上林っ子の絆は深まったと思います。

僕たち6年生は、小学校最後の芋掘りでした。多分人生でも最後の経験だと思うので、この経験は忘れないようにしたいです。

親子で考えよう地球温暖化 とべ動物園で環境問題を考える学習会

11月8日、県立とべ動物園で地球温暖化を考える環境学習会が行われました。参加者は、動物との触れ合いを楽しみながら、飼育員から「動物を取り巻く地球環境がどんどん悪化している」という話に、真剣に耳を傾けていました。

子どもたちは、「エコバッグを持ち歩く」「電気はこまめに消す」など環境に優しい生活を過ごすことを宣言していました。



宇宙飛行士 野口聡一さんのもとに 開発から5年 まるととが宇宙へ

宇宙航空研究開発機構（JAXA）の宇宙日本食に認証された「スペースまるととアジ（燻製しお味）」は11月16日に宇宙へ旅立った野口聡一さんのもとに届きます。（株）キシモトの岸本賢治専務は「5年の成果が報われ、天翔ける思いです。インターネット販売も始めたので、より多くの皆さんに商品を楽しんでいただきたいですね」と話しました。（同製品は広報7月号で特集しています。）



秋晴れの下でいっぱい採れたよ！ 北吉井小学校で収穫の秋

10月29日、北吉井小学校2年生が植えたさつま芋の収穫作業を行いました。子どもたちは、6月に植えたさつま芋の成長を確かめながら「めっちゃ大きい！」と笑顔でお芋を掘り起こしたり、「JAのお兄さん手伝って！」と交流を深め、実りの秋を楽しみました。



Interview



JAえひめ中央農協 谷口 裕紀さん
ゆうき
(前列左)

日本の農業を大切に

小学生と交流して無邪気だった自分の子ども時代を思い出して懐かしくなりました。この取り組みは毎年北吉井小学校の皆さんと一緒にしています。活動を通して、子どもたちが食の大切さを実感して、日本の農業を大切に想う心を育ててほしいと願っています。

Interview



拝志小学校5年生
濱田 美々さん

知らなかったことたくさん

木の授業では、実際に丸太をやすりで磨いて、年輪を顕微鏡で観察することができました。そこで外側が新しい樹皮だと初めて知りました。環境の授業ではプラスチックの問題を学びました。これから環境のことについて調べて、生活に活かしたいと思います。



エコキッズになろう！ 拝志小学校で環境会議

毎年恒例の、子ども科学&環境会議が10月23日に拝志小学校で行われ、5年生が木の年輪についての特別授業や、海洋プラスチックゴミを減らすためのエコ活動として、みつろうラップを制作しました。愛媛大学の竹下浩子先生は「使い捨てが当たり前になっている生活を見直すきっかけとしてください」と話しました。



▲児童とみつろうラップの制作に取り組む竹下先生（写真左）



東温市議会第5期議員が決定

市議会議員は市民の代表として、市政を進めるために必要な条例や予算を議会で決定します。詳しい紹介や活動内容は、次号の議会だよりをご覧ください。（敬称略・議席順）



Interview



西谷小学校教諭
川原 寛輝先生

試行錯誤から生まれる学び

実際にドローンを動かすことで、今まで勉強してきたプログラミングが生活の中で役立つことを肌で感じてもらうことが授業の目的。失敗したところから角度、距離を測りプログラムを修正する。子ども同士で話し合い、試行錯誤しながら成長する姿が見られました。



プログラミングを楽しく学ぶ 西谷っ子 ドローンを飛ばせ！

11月16日、西谷小学校で「木育×ドローン体験×プログラミング教育」授業（主催：農林中央金庫・県森林組合連合会）が行われ、(株)武田林業によるMOCKUPプログラミング教室ではドローン操縦を学びました。6年生の中川大輝さんは、「未来はドローンなど機械が増えて、もっと幸せな世界になると思います」と話してくれました。



長年にわたり地域福祉の向上にご尽力 社会福祉功労者に賞状

11月18日、長年にわたり、地域福祉の向上にご尽力いただいている功績を称え、市長及び社会福祉協議会長から賞状が送られました。受賞者を代表して民生児童委員を務める今井末行さんは、「受賞を機にさらなる努力を重ね、これからも東温市民の福祉の増進に寄与していきたい」と謝辞を述べました。受賞された30名5団体の皆さま、おめでとうございます。

5年連続出場 秘訣は「一瞬の集中力」 西岡チームが県スポーツ大会で優勝

山本美喜雄さん（写真右）、岡本学さん（左）、岡本かず子さん（中央）の3人で構成する西岡Aチームが県老人スポーツ大会ワナゲの部で優勝しました。輪投げは、1から9まで書かれた台を目掛けて輪を投げて得点を競う競技。西岡Aチームは633点（2位は566点）と大きく差をつけての優勝。3人は「会場で良い集中ができた。頭と体の健康づくりにもオススメです」と笑顔を見せてくれました。

